

行雲流水

No. 1 0 4 令和3年10月4日発行

「次の波（第6波）」が、必ず来る

校長 寒河江 正人

実に**68日**ぶり。

県は、10月2日（土）、**新規感染者は確認されなかった**ことを発表した。

7月26日以来のことである。

2ヶ月を超える「第5波」。

8月21日には、1日当たりの新規感染者数が**過去最多の69人**に上った。

その後、減少傾向に転じ、**9月13日以降は概ね1桁台**が続いている。

しかし、これも「**一時的な傾向に過ぎない**」ことを私たちは経験している。

油断して感染予防対策が甘くなれば、「いつでも、誰にでも、感染はあり得る」のだ。

国の専門家会議によれば、「**あと1・2ヶ月の間は、感染状況が穏やかかもしれない**」が、その後、「**急激なリバウンド（第6波）が来る**」だろうという。

12月頃に「**第6波**」が始まり、「**1～2月頃にピークを迎える恐れ**」があるとのこと。

寒くなり始めると、**インフルエンザの感染流行も懸念**される。

この冬は、どんな状況になるのか、いまだ予測はつかない。

その頃、中学校の現場は「**3年生の卒業後の進路に係る大切な時期**」を迎えている。

おそらく県内は、10月以降も少なからず新規感染者が続くのであろう。

当事者である3年生の生徒諸君とその家族だけでなく、1・2年生の生徒諸君とその家族にも、**感染防止の徹底**に向けて、ご理解とご協力をいただかねばならない。

3年生にとって、「**大切な進路選択の時期**」に**万全の体制で試験にチャレンジ**できるように支えたい。

そして、「**自分なりの自己実現（進路実現）の達成**」が叶うように支えたい。

そのためには「**感染のリスクを負わない教育課程（授業・行事等）の実施**」が不可欠だ。

従来やり方とは違う、「**何よりも、生徒の健康と生命の安心安全を最優先にした判断**」に基づいた教育課程（授業・行事・部活動等）の実施が「**ウィズコロナの常識**」になる。